



肥満でお悩みの方に 各分野の専門家がサポートします。 「肥満外来」についてご紹介。

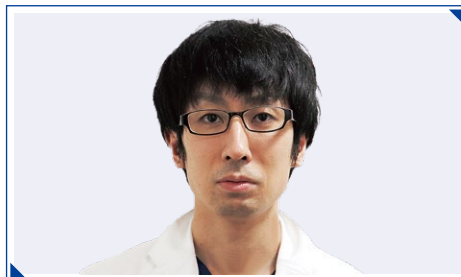
最近では、コロナ禍による外出自粛、テレワークなどの影響で運動不足、食生活の乱れが表れやすく、肥満傾向になっています。肥満は高血圧症、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病をはじめとする、数多くの疾患の危険因子で、これは世界規模で取り組むべき問題です。

当院の肥満外来は、名前のとおり体重の増加にお困りの方をサポートするための外来です。外来では、医師・看護師だけでなく、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、公認心理師の各分野の専門家がチームで対応し、食事指導、運動指導、ダイエットに対する心理的な不安を解消します。そのほか、高血圧症、糖尿病、高脂血症など持病のある方に対しては、医師の診察のもと、それらの治療と並行してダイエットに取り組んでいただけます。肥満についてお悩みの方はお気軽にご相談ください。

肥満外来 診療のご案内

診療場所	まつなみ健康増進クリニック2階 内科ブース
診療時間	毎週火曜日 14時00分～16時00分
予約方法	058-388-0111(代) ※内科外来へお問い合わせください。
受付時間	毎週月曜日～金曜日 14時00分～16時00分

肥満外来 担当医師プロフィール



総合内科 **堀田 裕平** 医師
(ほった ゆうへい)

出身大学
岐阜大学 (2015年 卒業)

専門分野
▶ 糖尿病・内分泌内科

資格
・日本内科学会:認定内科医

所属学会
・日本内科学会
・日本内分泌学会
・日本糖尿病学会



非常勤 **高橋 佳大** 医師
(たかはし よしひろ)

出身大学
岐阜大学 (2011年 卒業)

専門分野
▶ 糖尿病・内分泌内科

資格
・日本内分泌学会:内分泌代謝科(内科)専門医
・日本糖尿病学会:専門医
・日本肥満学会:肥満症専門医

所属学会
・日本内分泌学会
・日本肥満学会
・日本糖尿病学会

次のページは、「**腰椎椎間板ヘルニア**」について

Matsunami Information

NEWS

発熱症状で受診される患者さんへ ご来院される前に、下記QRコードから詳細をご確認ください。

1 当院がかかりつけ、通院中等で、当院への受診をご希望される場合

- (1) 来院前AI問診(HP参照)を行い、終了後表示の「来院前問診番号」を控えてください。
- (2) 来院前に、当院へお電話をください。[TEL] **058-388-0111(代)**
- (3) 発熱外来受診希望であることと、(1)の「来院前問診番号」をお伝えください。

2 帰国者・接触者相談センター(受診・相談センター)へ相談される場合

最寄りのセンターへ電話で相談し、指示に従ってください。
詳細は「帰国者・接触者相談センター」(岐阜県ホームページ)をご確認ください。
そのほか、詳細は右のQRコードで必ずご確認をお願いします。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

下記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、下記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日時	毎週月曜日・木曜日 (祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井



新型コロナウイルス 感染症対策に関わる 支援のご報告



このたび、当院へ温かいご支援をいただきました。厚く御礼を申し上げます。ご寄贈の品は、当院で大切に使用します。

氏名・企業名	高木 美代子 様
ご支援いただいた内容	寄附金

発熱症状
ある方へ
ご案内



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



幅広い年代で発症の可能性がある「腰椎椎間板ヘルニア」。

当院では新たな治療の選択肢として、

腰椎椎間板ヘルニア治療剤「ヘルニコア」治療を導入し、

患者さんのそれぞれの症状とご希望に合わせた治療を行います。

腰椎椎間板ヘルニアとは

通称背骨と呼ばれている脊椎は、椎骨^{せきつゐ}と呼ばれる骨が連結してできています。椎骨と椎骨の間には、椎間板というつながりがあります。この椎間板が様々な要因で変形・脱出することで、脊椎の側の神経を圧迫します。これにより痛みや四肢の痺れなどの症状を引き起こすことを「椎間板ヘルニア」と言います。中でも、脊椎の腰部分（腰椎）に発生するものを「腰椎椎間板ヘルニア」と呼びます。

椎間板は、水分をたくさん含んだゼリー状の髄核^{ずいかく}と、それを取り囲む線維輪^{せんいりん}と呼ばれる軟骨組織の二重構造になっており、腰椎に加わる圧力を分散させ、衝撃を和らげるクッションのような役割を果たしています。

しかし、線維輪が弾力を失ったり、大きな負担がかかると線維輪が破綻し、髄核の一部が外に飛び出します。この押し出された髄核が神経を圧迫することで、腰に痛みが生じるのです。

腰椎椎間板ヘルニアの特徴

■症 状

腰痛や臀部の痛みからはじまり、続いて下肢に激しい痛みやしびれが生じます。ほとんど満足に動けないことが多くあります。しかし、この痛みやしびれは、2～3週間でピークを越えることが多く、その後徐々に症状が薄らいでいきます。

症状は片側の足のみの場合が典型的ですが、両足に症状が出現する場合や、排尿や排便障害が起こる場合もあります。

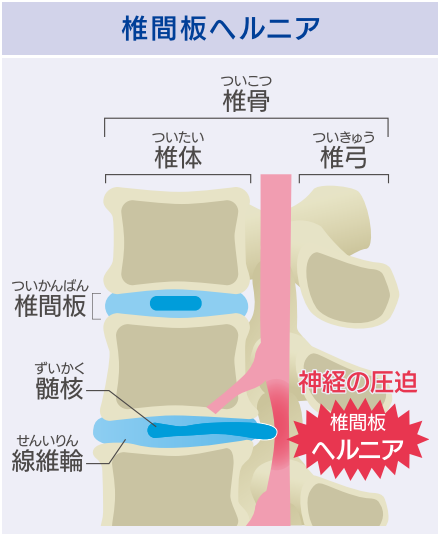
また、腰椎椎間板ヘルニアの場合、背中を伸ばしている時や寝ている時は痛みが楽になります。反対に、背中を丸めたり、前かがみの姿勢だと神経が圧迫されて痛みやしびれが強くなるのが特徴です。

■原 因

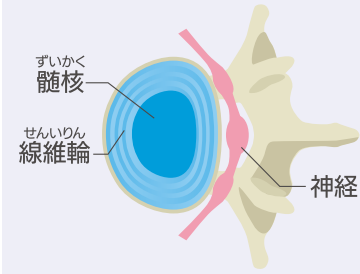
腰は背骨の中で一番下にあり、頭や上半身の重みがかかるため、腰部の椎間板はダメージを蓄積しやすい場所です。そのため、加齢に伴う椎間板の老化の過程で生じることが多くあります。

その他の要因として、重い物を持ち上げる、中腰といった腰へ負荷のかかる日常の動作、激しいスポーツなどがきっかけとなることがあります。

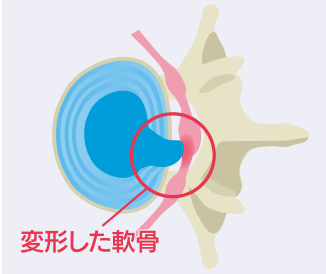
当院では、腰椎椎間板ヘルニアをはじめとする脊椎疾患の治療を、脊椎外科部長・脊椎外科センター長の日置医師が行っております。



正常時(断面図)



椎間板ヘルニア(断面図)



腰椎椎間板ヘルニアの治療方法

治療は、大きく保存療法と手術療法に分けられます。

腰椎椎間板ヘルニアは、痛みが強く生活に影響を与えることがありますが、50～80%は手術をしなくても痛みが改善するとの報告があります。自然に縮小したり、突出部分の大きさに変化がなくても症状が改善するケースが多いため、当院ではまず「保存療法」を行います。それでも痛みが非常に強い場合や、数カ月間の保存治療を行っても痛みが改善しない場合には「手術療法」を検討します。

保 存 療 法

炎症を抑えて痛みを軽減させる対症療法です。症状に応じてさまざまなものがあり、主な治療方法は以下の通りです。

- 安 静**…腰に負担のかかる重労働を控え、安静にする。
- 薬物療法**…痛みや炎症を抑える、消炎鎮痛剤やプレガバリンを使用します。
- コルセット**…コルセットなどを着用し腰を安定させ、椎間板にかかる負担を減らします。
- リハビリテーション**…姿勢の改善、筋力トレーニングを行います。
- 神経ブロック注射**…痛む部分の神経やその周辺に、麻酔薬などを注射して、痛みを抑えます。

手術療法

手術療法の一番のメリットは、痛みの原因を直接取り除くことができるため、痛みを早くとることができます。しかし、当然一定の確率で合併症が起こるリスクもあるため、患者さんのご希望、全身状態、症状に応じて保存治療あるいは手術治療を選択し治療を行います。

椎間板内酵素注入療法

保存療法のひとつとして、当院では、「ヘルニコア」を導入し治療を行っています。局所麻酔をかけ、レントゲン透視を確認しながら、椎間板内に腰椎椎間板ヘルニア治療剤（ヘルニコア）を注入してヘルニアによる圧迫を弱める方法です。

ヘルニコアとはどのような薬？

ヘルニコアとはヘルニアを起こしている椎間板の髄核に直接注射する薬剤です。ヘルニコアの有効成分コンドリアーゼは、髄核の保水成分を分解する酵素です。ヘルニコアを注入すると、コンドリアーゼによって髄核内の保水成分が分解され、水分によるふくらみが適度にやわらぎます。その結果、神経への圧迫が改善し、痛みやしびれが軽減されます。ヘルニコアの主な副作用として、一過性の腰痛や下肢痛、発疹、発熱、頭痛がみられることがあります。腰痛や下肢痛については、通常は時間経過とともによくなっていきます。



担当医師プロフィール



整形外科 脊椎外科 部長
脊椎外科センター長
日置 暁（ひおき あきら）

専 門 分 野
▶ 脊椎脊髄外科

資 格

- ・日本整形外科学会:整形外科専門医、認定脊椎脊髄病医
- ・日本脊椎脊髄病学会:脊椎脊髄外科専門医、脊椎脊髄外科指導医

所 属 学 会

- ・日本整形外科学会
- ・日本脊椎脊髄病学会
- ・日本側彎症学会
- ・日本脊椎インストゥルメンテーション学会
- ・中部日本整形外科学会災害外科学会

略 歴

- ・2001年 国立福井医科大学（現:福井大学医学部）卒業
- ・2001年 岐阜大学医学部附属病院 研修医
- ・2003年 公立小浜病院 整形外科 医員
- ・2004年 揖斐厚生病院 整形外科 医員
- ・2010年 岐阜大学大学院 医学系研究科 卒業
- ・2010年 岐阜大学医学部附属病院 整形外科 医員
- ・2014年 岐阜大学医学部附属病院 整形外科 助教 臨床講師
- ・2014年 松波総合病院 整形外科 脊椎外科部長 脊椎外科センター長